

事業報告書

事業年度

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

法人名 公益社団法人心の里親会・奨学会

公益社団法人心の里親会・奨学会事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

公 1 児童養護施設で生活する児童への支援

1 文通事業

児童養護施設で生活する子どもたちを励ます目的で、札幌市及びその近隣市町村に所在する児童養護施設の子どもたちと文通し、実施に当たり必要な研修を次のとおり行なった。

ア) 文通を希望する子どもたちと平均一ヶ月一回文通した。

文通した子どもと会員は共に 12 カ月で約 986 人であった。

平成 27 年度中に、新たに 1 組の子どもと会員が文通を始め、卒業や退所等により 13 組が文通を終了した。

イ) 文通した児童養護施設は次のとおり。

札幌南藻園、興正学園、羊ヶ丘養護園、柏葉荘、ふくじゅ園、
天使の園、櫻ヶ丘学園

※ 平成 28 年 3 月 31 日現在の文通児童数 71 人

※ 平成 28 年 3 月 31 日現在の文通会員数 62 人

ウ) 文通会員のつどいを次のとおり開催した。

文通の現状について話し合い、学ぶため、「第 40 回文通会員のつどい」を、平成 27 年 8 月 25 日(火)、札幌サンプラザで開催した。会員 52 人、児童養護施設の代表 13 人が参加し、文通の現状や改善について話しあった。

会員代表(7人)と施設代表(7人)とが総括発表を行って成果を分かち合い、その要旨を「心の里親しんぶん第 222 号」に掲載した。

2 施設訪問事業

文通している児童養護施設が主催する行事に参加し、子どもたちとの交流を通じその育成に寄与するため行った主な「施設訪問」と会員参加人数は次のとおり。

(1) 4 月 19 日(日)	興正学園	「新入学を祝う会」	5 人
(2) 7 月 18 日(土)	櫻ヶ丘学園	「交流会」	47 人
(3) 9 月 12 日(土)	柏葉荘	「園祭」	11 人
(4) 9 月 12 日(土)	ふくじゅ園	「園祭」	14 人
(5) 9 月 13 日(日)	札幌南藻園	「園祭」	7 人
(6) 9 月 23 日(水)	天使の園	「エンゼル祭」	10 人
(7) 10 月 4 日(日)	興正学園	「園祭」	28 人

(8)	10月17日(土)	ふくじゅ園	「交流会」	11人
(9)	11月8日(日)	天使の園	「交流会」	13人
(10)	12月23日(水)	ふくじゅ園	「キャンドル礼拝」	11人
(11)	12月23日(水)	札幌南藻園	「クリスマス会」	3人
(12)	12月22日(火)	柏葉荘	「クリスマス寄贈」	2人
(13)	3月12日(土)	札幌南藻園	「卒園を祝う会」	3人
(14)	3月20日(日)	天使の園	「卒園式・退園式」	14人
				合計 14回、179人

3 家庭実習事業

文通している子どもが会員宅にホームステイし家庭実習をする事業について、平成27年度は文通会員宅に文通児童が宿泊する家庭実習はなかった。

夏季休暇中に、小学生が次のとおり会員宅でお泊り会を行った。

○ 8月7日(金)、8日(土)

ふくじゅ園の4人の児童、先生1人、会員9人が参加して開催

8月10日(月)、11日(火)

興正学園の9人の児童 先生4人、会員11人が参加して開催

○ 内容は、買い物・食事会・レクリエーション・絵手紙研修などを行った

4 新しい出発を励ます会事業

文通から始まる当法人の支援活動は、奨学金給与や施設訪問活動等を行い、高等学校卒業で終了する。高等学校等を卒業し、文通している児童養護施設から就職・進学し、新しい出発をする子ども(卒業の日まで、この法人の奨学生であった者)を対象に、毎年2月「新しい出発を励ます会」を開催し、児童のこれまでの苦労と努力を讃え、門出を祝福・激励する。

ア)平成28年2月20日(土)、札幌サンプラザでこの会を開催した。卒業生17人(20人の内3人は入試等のため欠席)と会員等78人が参加した。来賓のお祝いの言葉、卒業生と文通していた会員との思い出話しが和やかに行われ、卒業生は今後の進路や決意をそれぞれ発表し、最後に卒業生代表が当法人に対し謝辞を述べた。

イ)生活必需品寄贈

卒業生20人に、新生活を始めるに当たり必要な品物を、当法人と、企業から支援して戴いた品物を寄贈した。(ストッキング、靴下、マグカップ、歯磨きセット等)

札幌南藻園4人、興正学園3人、羊ヶ丘養護園1人、柏葉荘2人、

ふくじゅ園3人、天使の2人、櫻ヶ丘学園5人、

ウ)卒業支度金給与

卒業生20人に、1人につき3万円を給与した。

5 小学校入学祝寄贈事業

当法人は、毎年4月、文通している児童養護施設で小学校一年生に就学する児童に、通学に必要な品物を寄贈する。平成28年度の新入学児童に、3月1日(火)、次のとおり寄贈した。

- ア) 寄贈品 通学用の靴、筆入れ、鉛筆、消しゴム、靴下、
- イ) 寄贈先 札幌南藻園2人、興正学園4人、羊ヶ丘養護園3人、
柏葉荘2人、天使の園4人、櫻ヶ丘学園1人 合計16人

6 クリスマスプレゼント寄贈事業

当法人は、毎年クリスマスの頃、文通している児童養護施設の子どもたちに、日常生活の質を高めるために必要な品物を寄贈する。平成27年度は、10月末、児童養護施設に対し、必要としている品物を調査し、1施設につき3万円の予算で12月初旬に次のとおり寄贈した。

- 札幌南藻園(雪遊び用具)、興正学園(ボードゲーム)、
- 羊ヶ丘養護園(DVDプレイヤー) 柏葉荘(スポーツ用具、ゲームソフト、DVD)
- ふくじゅ園(スポーツ用品)、天使の園(ケトル、体重計、エクササイズグッズ)、
- 櫻ヶ丘学園(DVD)

7 展覧会事業

この事業は、文通している児童養護施設の子どもたちから作品を募集して行う。子どもたちに、作品を制作したり作文を書く機会を与え、それを通して子どもたちが成長することを期待する。また、展覧会を通じて大勢の方に子どもの作品を鑑賞して頂き、児童福祉や子どもの教育について、改めて考えて頂く機会になることを期待し開催する。

平成27年度は次のとおり行なった。

ア) 募集と応募

平成27年8月、文通している児童養護施設に対し、「絵画展及び書道展並びに作文コンクール」の開催及び応募方法を知らせ、多数の力作が寄せられた。

- ①絵画展 応募 66人 ②書道展 応募 31人 ③作文コンクール 応募 14人

イ) 審査会を開催、応募作品の中から優秀作品を選考した。

- ①絵画展 平成27年10月2日(金)、審査を角力山旭氏にお願いし、北海道知事賞ほか23点の優秀作品を選考した。
- ②書道展 平成27年10月6日(火)、審査を石原北陽氏にお願いし、北海道知事賞ほか12点の優秀作品を選考した。
- ③作文コンクール 審査を朝倉賢氏にお願いし、心の里親会・奨学会長賞ほか5点の優秀作品を選考した。

選考理由を、「表彰式」で講評、「心の里親しんぶん第 222 号」に掲載した。

ウ)「絵画」及び「書」の展覧会を開催した。

①平成 27 年 10 月 26 日(月)から 28 日(水) 北海道庁 1 階で(入賞作品のみ)

②平成 27 年 11 月 1 日(日)から 6 日(金)まで札幌市地下街オーロラタウンで(全作品)
展覧会開催期間に当法人の活動についての問い合わせ寄せられた。

エ) 表彰式開催

入賞作品の表彰式を、11 月 14 日(土)、札幌サンプラザで開催した。

この事業の後援者及び当法人代表者が、入賞した子どもたち一人一人に賞状と楯を授与した。111 人の方が表彰式に出席し、喜びを分かちあった。

なお応募した子どもたちに、この事業の協賛者と当法人から参加賞を寄贈した。

8 広報事業

ア) 心の里親しんぶん発行

当法人は、会員と当法人の支援者に活動状況を報告すると共に、関係者以外にも児童福祉問題の推進に資する目的で、年 2 回「心の里親しんぶん」を発行している。

平成 27 年度は、221 号(7 月 15 日)、222 号(1 月 31 日)を、各号 1,300 部ずつ発行し、配付した。この活動に関わった延人数は 81 人延時間 160 時間。

イ) ホームページ

ホームページを更新し、当法人の活動状況の広報、情報公開を行った。

平成 27 年 7 月 <http://satooyasyougakukai.net/>

9 心の里親フェア開催事業

当法人が児童養護施設を対象に展開している活動を広く知らせ、支援をお願いする目的で、次の事業を行なった。

9 月 20 日(日)、午前 10 時から午後 2 時 30 分まで札幌市民ホールで開催。

販売会場や展示会場の他喫茶室やお茶席を設け、当法人の活動状況の展示や説明等広報活動、活動資金を集めるためのバザー開催、その他、喫茶室での交流などを行った。この事業を行うに当たり関わった人数は 403 人、要した時間は 1,407 時間。

10 活動報告会事業

平成 28 年 1 月 15 日(金)、札幌サンプラザで、当法人の支援者及び当法人の活動に関心がある一般の方たちを対象にこの事業を行った。101 人が参加し、当法人が平成 27 年 1 月から 12 月の期間に行った活動について、「事務局」・「山鼻支部」・「あす花会」が、それぞれの立場から報告した。報告会に引き続き交流会を開催した。

11 奨学金給与事業

当法人は、文通している児童養護施設で生活し、高等学校等で修学する子どもたちに、奨学金を給与している。これは、子どもたちが、修学に際して負う経済的負担を軽減し、勉強や学校の活動に励み、将来を担う立派な社会人になることを目的として行う。平成27年度は、この事業を、次のとおり行った。

ア) 奨学生募集

平成27年3月に、「児童養護施設代表との話し合い」を行ない、平成27年度の奨学生の募集を行い、応募要領を説明した。5月20日(水)に願書を締め切り、97人から申請があった。

イ) 奨学生選考

6月3日(水)、奨学金選考委員会を開催、書類審査の結果、応募者全員を当法人の奨学生として相応しいとし、理事会に推薦した。

ウ) 奨学生認定

6月8日(月)「平成27年度第2回理事会」で、奨学生応募者全員を当法人奨学生に承認し、奨学生に通知した。

奨学生の、学校種別(①)及び学年別(②)、は次のとおり。

①普通科 67人、高等養護学校 27人、職業能力開発校 3人、

②1学年 39人、2学年 33人、3学年 24人、4学年 1人(定時制)

エ) 奨学生認定式・奨学金授与式開催

6月13日(土)札幌サンプラザで「奨学生認定式・奨学金授与式」を開催した。

初めて奨学生になった札幌市内と北広島市の児童養護施設の奨学生(33人)が参加した。会長訓示の後、奨学生に認定書を交付し、第一期奨学金を給与した。櫻ヶ丘学園(仁木町銀山)は7月18日(土)、会長が奨学生(21人)に認定書と第一期奨学金を交付・給与した。

オ) 奨学生中途採用

6月決定後、新たに児童養護施設に入所した学生から奨学生応募があり、所定の手続きを経て次のとおり採用した。 8月1人、10月1人、2月1人

カ) 奨学生の辞退

奨学生が児童養護施設から退所等の理由により、次の奨学生辞退があった。

8月3人、10月2人、 (合計 5人)

キ) 奨学金給与

奨学金(年間一人4万5千円)を、三期に分割し、奨学生に給与した。

給与した期日等は次のとおり。

① 第一期給与 6月13日(33人)

6月26日(9人)、27日(34人)

7月18日(21人)

- ② 第二期給与 8月28日(6人)、29日(89人)
- ③ 第三期給与 1月29日(12人)、30日(76人)

給与した延人数 280人

収 1 前売券販売

福祉協賛札幌夏祭り大通ビアガーデンの前売券販売活動

この法人への支援をお願いするため、この事業を行なっている。平成27年度は、6月1日から8月10日まで前売券を販売した。札幌市社会福祉協議会を通じ収益金の一部を寄附金として受けた(平成28年3月18日)

(参考)

全事業の活動延人数と活動延時間(支部活動報告より)

公益事業	1,310人	4,426時間
------	--------	---------